



対面での移住相談の様子



オンラインでの移住相談の様子

さと暮らし応援センターに設置、私板垣が着任となった。東京・愛媛でのコンシェルジュ配置により、相談窓口の強化だけでなく、地域や自治体との連携を見据えた体制づくりをスタートさせた。

東京の移住コンシェルジュからは、「ふるさと回帰支援センター」でのノウハウや全国の事例を吸収することで移住促進の新たな取組みに役立てることができた。また、愛媛の移住コンシェルジュは、県内の移住者や地域おこし協力隊たちへ積極的に接触しリサーチすることで現場の生の情報を拾い上げ、移住相談対応に役立てていった。

2 移住メディアの刷新

私がえひめ移住コンシェルジュとしてまず改善したかった部分が、移住検討者に配布するパンフレットやWEBサイトなどのWEBメディアである。首都圏からの移住者でもある私は、初めに手にするであろう移住パンフレットやサイト検索でヒットするWEBサイトの重要性を感じていたが、既に作られたものが移住者目線でないことに気づく。

まずは、移住パンフレットから改善をすることとなった。初めて愛媛を知るための食や産業などの基本情報、暮らしやすさのデータ、都会と愛媛での比較など、移住者目線にこだわり、改訂を行った。こうして愛媛県移住パンフレットは「えひめ暮らし」として生まれ変わった。



移住パンフレット「えひめ暮らし」

また、愛媛県移住ポータルサイト「e移住ネット」については、情報の整理だけにとどまらず、移住イベントの予約機能やテレワーク移住も見据えた改訂を行い、令和2年度に「えひめ移住ネット」としてリニューアルオープンした。